

(様式1) <b>平成19年度 事務事業評価表</b>					
記入年月日	平成19年4月10日	記入者		連絡先	749-2214
平成18年度部名	土木部	課名	南土木事務所	課長名	八木 博
平成19年度部名	土木部	課名	南土木事務所	課長名	内田 徹
事務事業名	交通安全施設整備事業				
予算上の事務事業名	交通安全施設整備事業(市内一円)南土木事務所分				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32210		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第2節 安全でゆとりある道路の整備				
施策名	第1施策 人にやさしいみちづくり				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	道路法第30条(道路の構造の基準) 道路構造令第31条(交通安全施設)				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修	▼	5 事業開始年度	昭和63年以前	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
市民を交通事故から守るため、道路や交通安全施設の整備充実に努め、交通安全対策を行なう。					不特定多数
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1.区画線設置工事 53箇所 8,129千円 2.カーブミラー設置工事 72箇所 13,362千円 3.道路標識設置工事 10箇所 1,208千円 4.点字ブロック設置工事 2箇所 1,092千円 5.カラーシート設置工事 13箇所 9,166千円 6.歩道補修工事 21箇所 17,585千円 7.防護柵、交差点鎮設置工事 19箇所 4,978千円 8.その他一円 4箇所 7,749千円 総事業費 63,269千円					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	他市においても同様である。				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	74,675	61,566	63,269	57,130	57,130
一般財源	74,675	61,566	63,269	57,130	57,130
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	3,307	3,307	4,510	4,510	4,510
事業コスト合計	77,982	64,873	67,779	61,640	61,640
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	カーブミラー設置工事			対象名称 と単位	設置箇所数
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	16,421	12,496	13,362	14,000	14,000
対 象 数	64	53	72	78	78
単位あたり経費(円)	256,578	235,774	185,583	179,487	179,487
前 年 度 比		0.92	0.79	0.97	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	実施箇所数	指標式と指標の説明		目的については、要望件数である。	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	64.0	53.0	72.0		
目標	64.0	53.0	72.0	78.0	78.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	実施箇所数	指標式と指標の説明		目的については、要望件数である。	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	64.0	53.0	72.0		
目標	64.0	53.0	72.0	78.0	78.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [ A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [ A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [ A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [ 有・無 ]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[	] : 良好な状態を維持する事業			
	[	] : 概ね良好な状況である事業			
	[	] : 見直しを行う必要がある事業			
	[	] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		安全でゆとりある道路整備の実現を目指す上では、きわめて有効且つ効果的な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
要望の受け付けから設置までを早期に対応することで事業効果が期待できる。			地元住民の協力が必要。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			